

■LEDユニットについて

- ・光束維持時間は40,000時間です。
- 光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- ・LEDのみの交換はできません。
- ・LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- ・LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- ・電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル
(全国共通番号) 電話 0570-055123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル
(全国共通番号) 電話 0570-015123
FAX 0570-025123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検



ご使用の際
このような
症状は
ありませんか

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがある。
- コードに傷や傷みが見られる。
- グローブ、セードなどにひびが見られる。



ご使用 中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。

△ 安全に 関する ご注意

- 照明器具及び関連機器には耐用年限があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

- ・取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- ・保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。
- ・グローライト管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- ・保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
- ・保証書は日本国内においてのみ有効です。
- ・保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 LED電源/モジュール/LED電球:3年間

お賣上年月日

お
客
様

お名前
ご住所
電話 ()

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

! 警 告		
	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	やわらかい天井に取付ける場合は補強材を入れてください。石膏ボードに取付ける場合は補強材を入れてください。→器具の落下によるけがの原因になります。	このような場所には取付けないでください。 この器具は天井埋込専用器具です。壁などには取付けできません。傾斜天井に取付ける場合は55°までにしてください。→器具の落下によるけがの原因になります。
	(一社)日本照明工業会・断熱遮音施工用埋込形照明器具SB形適合品です。マット敷き工法(住宅用人造鉱物纖維断熱材JIS A 9521)およびブローアイネル工法(吹き込み用纖維質断熱材JIS A 9523)で施工された天井に使用することができます。 特殊な断熱施工された天井には使用しないでください。→火災の原因になります。	 55°を超える傾斜天井 壁面 補強のない場所
	外郭が天井内の造営物やダクトなどの設備に触れないように施工してください。	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込んでください。→感電・故障の原因になります。
	アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。→アースが不完全な場合、感電の原因になります。	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。
	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

! 注 意		
	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。
	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。	使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	表示された電源電圧(AC100V～AC254V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
	周囲温度5～35°C、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。	照明器具の耐用年限は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。	照明器具の耐用年限を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。 照明器具の耐用年限を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。燃焼現象ではありません。

■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AD45405L・AD45406L AD45407L	AC100V/AC200V/AC254V	0.59A/0.30A/0.24A	59W	LED

■施工前の確認

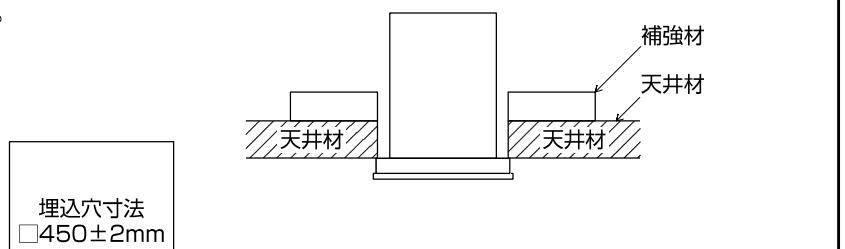
1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

やわらかい天井に取付ける場合は取付金具と天井の間に補強材を入れる。

△警告 石膏ボード単体での取付けはできません。石膏ボードに取付ける場合は補強材を入れてください。
器具の落下によるけがの原因になります。

2 天井に埋込み穴をあける

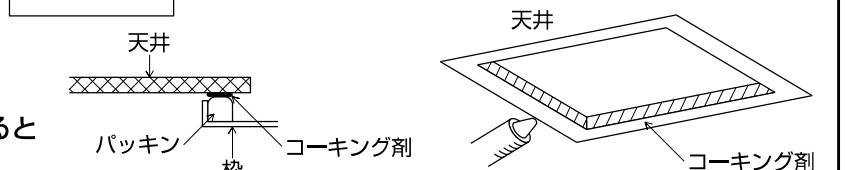
埋込み寸法	天井材厚(補強材含む)
□450±2mm	8~27mm



3 取付面の処理

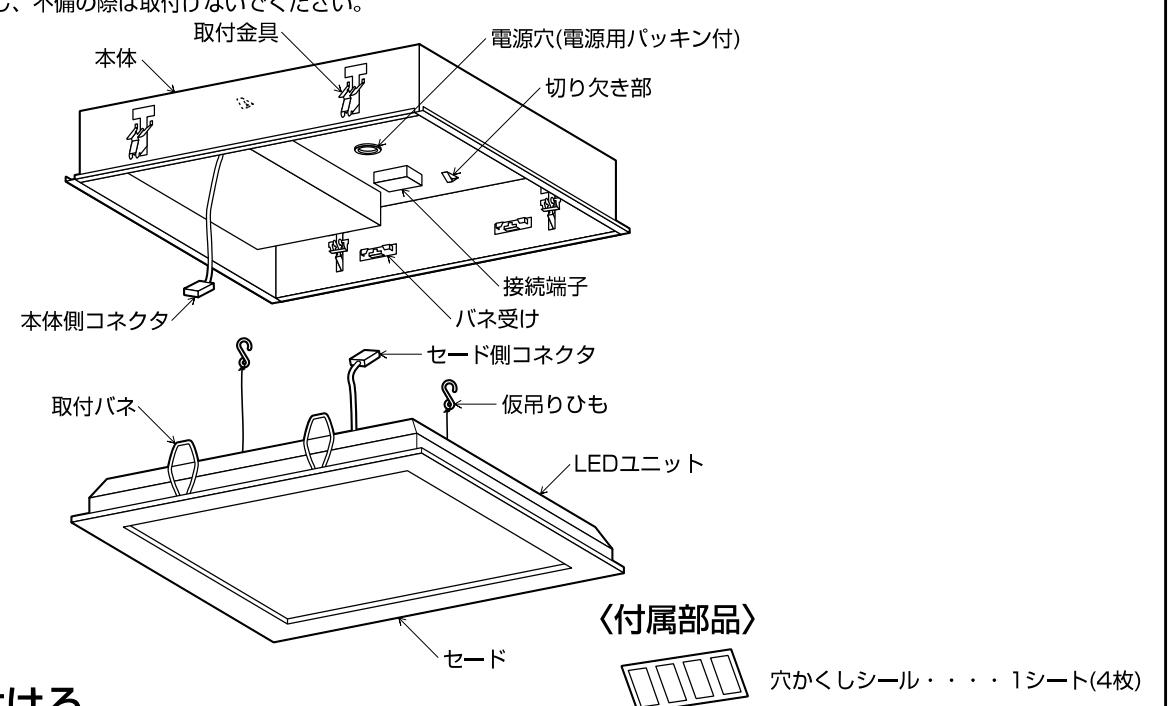
コーティング剤で天井面を平面にする。

凹凸のある天井や、天井材の合わせ目があると
気密性が保たれません。



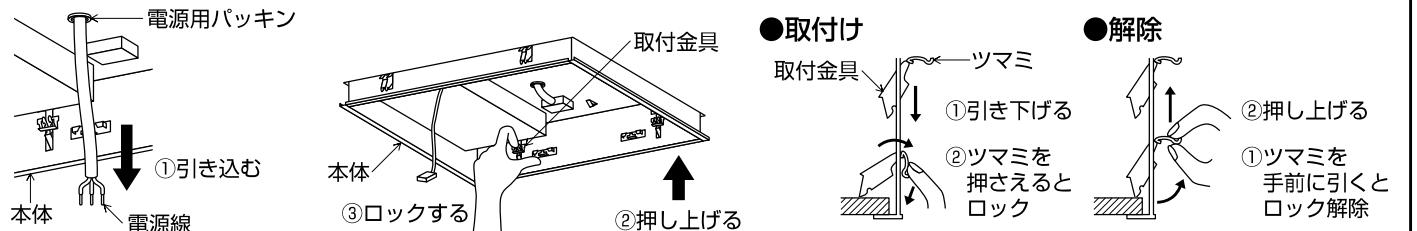
■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 本体を取付ける

- ①電源線で電源穴の電源用パッキンを貫通させ、本体内に引き込む。
- ②本体を天井穴へ押し上げる。
- ③取付金具をロックして本体を確実に取付ける。

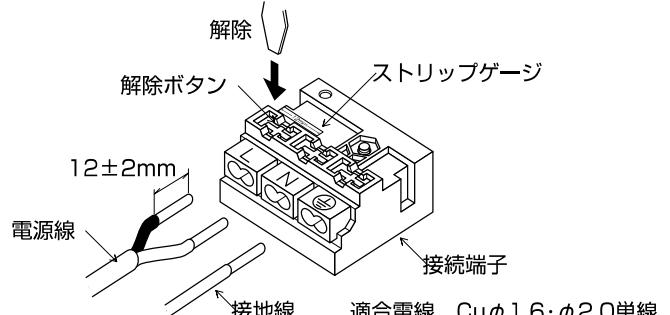


2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、接続端子に確実に差し込む。また、送り配線は照明器具専用とする。(送り総容量5A)
はずす時は解除ボタンをマイナスドライバーで押し、電源線を抜く。

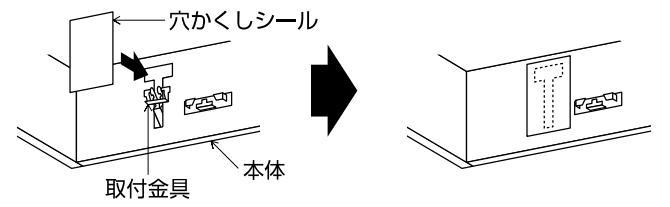
※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続は確実に行なってください。
接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。



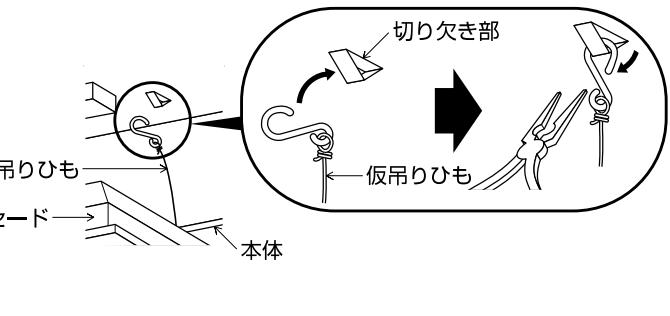
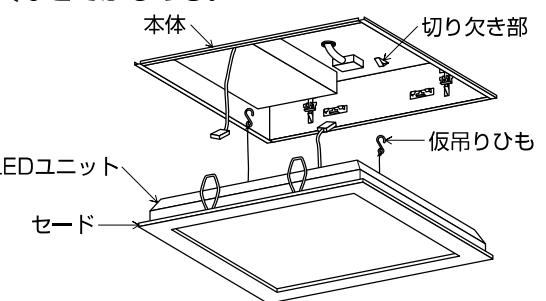
3 穴かくしシールを貼る

穴かくしシールを本体の取付金具(4ヶ所)の上からすきまのないように確実に貼り付ける。
穴かくしシールが大きい場合は、穴かくしシールを切るまたは本体の天面まで沿うように曲げて貼り付ける。



4 セードを仮吊りする

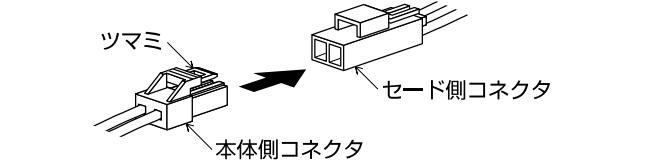
セードの仮吊りひもを本体の切り欠き部に引っ掛け、工具などでかしめる。



5 コネクタを接続する

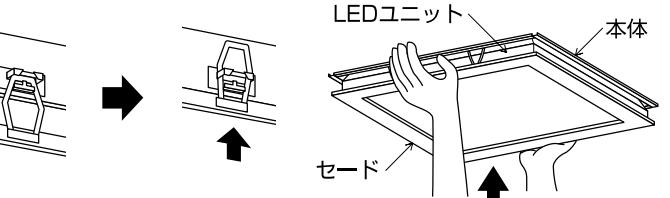
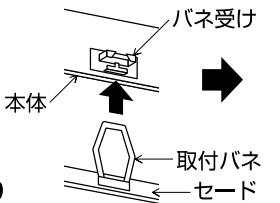
セード側コネクタと本体側コネクタを確実に差し込む。
はずす時はツマミを押しながら抜く。

△警告 電源の接続を確実に行なってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



6 セードを取り付ける

取付バネをバネ受けに引っ掛け、セードをまっすぐ押し上げ、本体に取付ける。



7 点灯の確認を行なう

!
器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがあります、異常ではありません。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。
壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。